

# 企画総務委員会

## 3月定例会審議報告

委員長

**磯部 雅弘**

副委員長

**中根 文彦**

委員

**筒井 登**

委員

**松井 晋一郎**

委員

**ささき えみ**

委員

**渡辺 将司**

委員

**神田 たかひろ**




委員

**くろの 拓海**

# 企画総務委員会所管部局紹介



企画総務委員会では、これら8つの主要部局を対象に、

 **税金の使途**、 **施設の最適化**、 **市民の安全**に関する質疑と議論を行いました。

# 3月審議内容

## 議案質疑より抜粋

議案番号	内容	審査結果
議案第4号	西尾市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	全員一致可決 ✓
議案第5号	西尾市附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員一致可決 ✓
議案第6号	西尾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員一致可決 ✓
議案第7号	西尾市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	賛成多数可決 ⚠
議案第30号	西尾市消防長及び消防署長の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について	全員一致可決 ✓

## 予算質疑より抜粋

にしおイズム委託料

災害対応システム

佐久島救急患者輸送経費負担

人件費の構造

消防施設事業

ふるさと納税

消防団

市民公募事業

人口減少対策プロモーション事業

公共施設再配置

財政調整基金

官民連携事業

# 議案第7号：特別職の給与・退職手当改定

Q.市長・副市長・教育長それぞれ改正後の額はいくらか

役職	給料	地域手当	期末手当	総額	退職手当
市長	1,225.2万	98.0万	552.5万	1,850万円 → <b>1,875.7万円</b> (+25.7万円)	1,671.6万 → <b>1,694.8万</b> (+23.2万) (任期4年)
副市長	957.6万	76.6万	431.8万	1,445.8万円 → <b>1,466.0万円</b> (+20.2万円)	941.2万 → <b>954.4万</b> (+13.2万) (任期4年)
教育長	873.6万	69.9万	393.9万	1,319.0万円 → <b>1,337.4万円</b> (+18.4万円)	323.1万 → <b>327.6万</b> (+4.5万) (任期3年)

過去の特別職報酬等審議会(H23,H26,H28,R3,R6,R7)の答申は全て反映。  
平成24年には1.0%の引き下げも実行済み

# 消防施設事業：市民の生命財産を守る拠点

Q.予算執行によって期待される成果はどのようなか



## 新設・計画

- ・西分署庁舎建設工事基本設計
- ・40m級耐震性貯水槽新設工事



## 職場環境改善

- ・北出張所仮眠室個室化等修繕工事



## 通信・設備更新

- ・幡豆分署電話交換設備改修工事
- ・消防水利等改修工事

**消防力  
の強化**

# 災害対応システム導入

Q.災害対応システムとは具体的にどのようなシステムか



# ふるさと納税①：財源の確保構造

Q.実質的な一般財源はいくら確保できる見込みか

見込み歳入寄付額 **25億円**

経費 **12.3億円**(約50%)



返礼品調達費: **5億7,100万円** (46%)



ポータルサイト利用料: **2億5,844万円** (21%)



返礼品送料: **1億2,940万円** (10%)



その他経費: **2億7,557万円** (22%)

財源

**12億6,558万3千円**

寄付25億円に対し  
経費を**50%以内**に抑制。

約**12.7億円**の  
実資財源を安定確保！

# ふるさと納税②：ルール厳格化への対応

Q.地場産品基準の厳格化による影響はどのようなか

## R8年10月からの変更点

- 付加価値の算定方法の明確化
- 証明手続きの厳格化

## 本市への影響

**軽微**

既存の返礼品は既に基準を踏まえており、大規模な見直しや寄付額への影響はなし

## 現在の対応状況

- ✓ 事業者向け説明会実施済み
- ✓ 個別フォロー継続中  
(安定供給体制の維持)

制度改正への対応は完了段階。引き続き管理下で推進。

# 消防団：地域防災のマンパワー確保

Q.消防団員の現員数と団員の勧誘内容はどのようなか

## The Problem

条例定員：643人

現在実員：523人  
(充足率81.3%)

120人  
の欠員

R8年度予測：退団48人/入団39人  
→ 実員514人 (129人の欠員予測) ⚠

## The Solution

新たな勧誘活動

学生消防団員

看護専門学校での普及啓発活動

地域社会に貢献する若年層の確保へ

# 公共施設再配置①：これまでの成果と見える化

Q.公共施設再配置において、現在において具体的な成果はどのようなか

## 昨年度（計画・検討フェーズ）

- ・「西尾市ファシリティマネジメント推進協議会」設置  
(町内横断的な検討)
- ・一色老人福祉センターの  
機能移転検討



## 今年度（実行・透明性フェーズ）

- ・利用者等への説明と実行の道筋を策定

- ・施設データの  
「見える化」

コストや利用状況等のデータを  
市ホームページで公表



# 公共施設再配置②：来年度の具体的成果

Q.来年度中に、統廃合の具体的な成果は説明できるのか

※予算化は各施設所管課にて実施

## 長寿命化(9施設)

- ・ 総合福祉センター
- ・ ふれあい広場(ホワイトウェイブ21)
- ・ 住崎住宅A棟・B棟
- ・ 西野町小学校、花ノ木小学校、西尾中学校
- ・ 寺津ふれあいセンター、西野町ふれあいセンター
- ・ 一色地域交流センター

## 統合(1施設)

中央ふれあいセンター + アクティにしお



生涯学習センターへ統合

## 解体(3施設)

- ・ 旧一色支所
- ・ コミュニティ公園体育館及び管理棟
- ・ 中央ふれあいセンター

## 補助(1施設)

公設民営の平坂保育園を、  
民設民営施設として建設する法人への補助

# 公共施設再配置③：なぜ急ぐのか？目標と課題

Q.統廃合は性急に着手すべきと考えるがどうか

## 目標

令和40年度までに  
延べ床面積15%削減

54万m<sup>2</sup>から  
→ 約8万2千m<sup>2</sup>削減

## 逆風

物価高

人口減少

少子高齢化

現在のペースでは  
⚠ 財政規律の  
維持が困難

「公共施設再配置等検討委員会」を設置。統廃合を加速化！  
委員会の答申を参考に、滞りなく統廃合を実行へ